

夏だ!真光寺川を楽しもう

真光寺川を清流にする会
世話人 山口 拓郎

今年も夏らしい夏がやってきた。例年に比しアオコの発生が少なかったように思う。そのせいか水は澄み、水底が透けて見える。目を凝らすとオイカワやクチボソだろうか、小魚が群れをなして泳いでいる。子ども達が川の中で水中サッカーに夢中になっていた。水しぶきと歓声が本格的な夏の到来を告げているようだった。

5月

5月7日(土) 鶴三小「真光寺川ウォーク」の打合せ

町内会、老人会、市民団体、PTAの方々が集まる。中村さんと出席する。清流の会は、6拠点の内3拠点を受け持つことになった。中でも中村さん等が担当する「エコタワシ作り」は評判がいい。PTAのお母さん方にも手伝ってもらうことになった。

5月8日(日) 清掃日

快晴、水やや冷たい。14名参加。和光鶴小の大川、大野先生も。ナマズ発見との報告。昨年、「まつり」で命名して放した「真光寺川のシン太郎」か?

5月19日(木) 水サンプル採集

油照り、太陽がジリジリと容赦ない。ただ橋にカルガモの新しい親子の群。

5月20日(金) 鶴三小「真光寺川ウォーク」開催

微風高曇り、絶好のウォーク日和。8時に能ヶ谷いこい会館へ。先生方も校長先生始めテントを張ったり、机を運んだり忙しい。

9時前、早くも子ども達が5~6名ずつグループを作って現れる。

全校児童340名、学年別に6拠点を目指し、4時間かけて巡回する計画である。せせらぎの小径、広袴公園、真光寺川一帯は子ども達の華やかな彩りと歓声に包まれる。どの顔も生き生きと輝いて見える。いたる所で地域の方々子ども達の、微笑ましい交流が見られた。真光寺川、その自然の流れが人と人を繋いでいる、何か喜びを感じずにはおれなかった。そして無事終了。2時過ぎ、子ども達は隊伍を組んで帰って行った。

6月

6月9日(木) 真光寺中・ヤゴ救出作戦
鶴四小・体験学習打合せ

花田副校長から「明後日ヤゴを救出したい」旨連絡があった。急遽、岩上、桜井、山本さんに応援をお願いする。15時、真光寺中へ。どういう訳か今年はヤゴが少ない。それでも数十匹池に放つ。急ぎ鶴四小へ。前月末、4年担当のK先生から「真光寺川で体験学習をしたいので相談にのってほしい」と要請があった。4名の先生方が集まって下さった。なかなか方向が定まらない。「ゆとり教育」の見直しで揺れているのだろうか。先生方も大変だなど思いながら後日を約し辞去する

6月10日(金) 鶴三小・地域交流会

「真光寺川ウォーク」のことも多く話題になる。地域の交流を深めるきっかけとなったとおもうと嬉しい。地域の子も達を地域で大切に育ぶくんでいきたい。



広袴公園で真光寺川の鳥の話聞く鶴三小の子ども達

6月12日(日) 清掃日

晴れ、暑気厳しい。15名参加
バイク、自転車数台引き上げる。
終了後、「まつり」の打合せ。今年のTシャツは鶴三小6年生中村愛さんの見事な作品にもとづいてデザインされた。生地の色が討議されたがピンクに決定。

6月16日(木) 水サンプル採集
かるがも親子、元気な姿にほっとする

6月23日(金) タウンニュース取材
松田記者は水質検査に関心を示す。

6月26日(日) 市民大学・環境体験講座
下見とエコネット推進連絡会議

山岡夫妻、中村、二田、桜井、田中さん等が参加。わさび沢川沿いに湧水を観察しながら滝の沢へ。結構暑かった。ひと休みして午後からフォーラムで推進連絡会議。トーク&ディスカッションは塩谷さんの「EM菌による川の浄化」であった。松尾さんから市・生涯学習部の広報誌「夏休み子どもフェア2005」に「真光寺川まつり」を掲載するように話が合った。早速、「申し込み」をファックスする。

6月27日(月) 生涯学習部から連絡
広報誌掲載OKの連絡。あわせて障害保険の確認。既に高橋さんが手続きを取っている旨返事する。広報としては強力である。

7月

7月1日(金) 一金会
いよいよ「まつり」が近い。和民に8名集まる。当日の段取り等打合せに熱がこもる。

7月5日(火) アサヒタウンズ取材
三和記者の取材。下堰親水、能ヶ谷いこい会館を案内する。真光寺川は想像していたよりずっときれいだと言う感想だった。

7月7日(木) タウンニュース紙掲載
一面に「真光寺川を清流に」広がる活動の輪」と言う見出しで紹介される。

7月10日(日) 清掃日
15名参加。終了後「まつり」の打合せ。ほぼ最終打合せとなるので念には念を入れ

る。和光小の大川先生も出席下さる。

7月11日(月) 関係先に連絡
前日の打合せにもとずき、鶴三小、南多摩東部建設事務所、市下水道部、鶴川農協等関係先に電話し諒解を得る。

7月13日(水) 鶴三小・はばたき新聞
PTAの機関誌。「真光寺川ウォーク」や地域交流会のことが大きく取り上げられていた。早速、感想を送る。

7月14日(木) アサヒタウンズ紙掲載
「川遊びをたっぷり楽しもう」と言う見出しで詳しく「まつり」の内容が紹介されていた。

7月20日(水) 鶴三小より連絡
5年生担当の横山(女性)先生から、お電話。まつり当日は下堰親水で行われるオープニングに参加してもらうようにお話する。

7月21日(木) 水サンプル採集
早朝、家を出る。暫く雨が少なかったせいか透明度を増している。随所に小魚の群れが認められた。

7月28日(木) 辰濃さんから陣中見舞い
辰濃和男さんから、ビール券が送られてくる。何時も応援して下さい恐縮する。

7月29日(金) 「まつり」前日準備
昼から鶴三小に「絵」を借りに行く。駅前の「ノジマ」で落書きの下敷きにするダンボールを調達する。運び込むのに難渋。4時、大川先生が水槽を持って来て下さる。1班は水槽の設置と魚の捕獲。他の1班は絵の展示に取りかかる。和光鶴小の小菅先生が4年生の版画「真光寺川物語」を持参される。見事な出来栄でそれぞれ物語があつて見応えがある。7時過ぎに終わる。

7月30日(土) 真光寺川まつり
いよいよ「まつり」の当日である。早朝目覚める。雲間に星が瞬いている。まずはホッと神に感謝。多くの方々が来て下さる。終って、ささやかな打上げ会。流石に疲れたが話はずむ。辰濃さん差し入れのビールが腸にしみた。